

## 令和5年度 第1回 岩国市地域包括支援センター運営協議会議要旨

1 日 時 令和5年8月3日（木） 19時40分～20時30分

2 場 所 岩国市役所 2階 特別会議室

3 出席者 委員11名・事務局8名・地域包括支援センター 5名

### 4 開会挨拶 健康福祉部長

本日はお忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。本日の会議では、今年度、地域包括支援センターの業務を委託する法人を公募型プロポーザルによって募集・選定しましたので、その結果等についてご報告をさせていただきます。

取り扱う業務の増大もありまして、地域包括支援センターを取り巻く状況はなかなか厳しいものがございます。本協議会でのご意見も参考にいたしまして、地域住民の心身の健康の保持と生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上、福祉の増進を包括的に支援するという、地域包括支援センターの目的を果たせるよう、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

委員の皆様の専門的な立場からの忌憚ないご意見をぜひいただけたらと思っておりますので、本日はどうぞよろしく願いいたします。

### 5 議題1「岩国市地域包括支援センター運営業務委託法人の選定について」

事務局 説明

#### (1) 公募型プロポーザルでの公募及び結果について

岩国市地域包括支援センターの機能強化を図る観点から、地域型センターの民間委託を4か所から10か所に増設するため、運営を委託する法人について、公募型プロポーザル方式により募集をいたしました。三法人から応募があり、プロジェクトチームで参加資格の審査及び提案書のヒアリングを行いました。

審査の結果ですが、募集した10区域のうち、岩国1圏域の川下・愛宕区域は医療法人社団まりふ会、岩国3圏域の灘・通津区域は社会福祉法人平成記念会、岩国5圏域の錦・美川・美和・本郷区域は、社会福祉法人錦福祉会を令和6年度における受託予定業者として特定いたしました。

なお、現在委託している岩国2圏域の藤河・御庄・師木野・岩国を含め他7区域については、応募がございませんでした。

また、応募のなかった7区域については、二次募集も想定し、4年度に実施した法人への聞き取りの際に包括の受託について前向きな意見があった法人に対して、再度状況の確認をいたしました。人材確保が難しい等の理由から、二次募集の実施にはつながりませんでした。

#### (2) 令和6年度地域包括支援センターの配置区域について 資料

資料の下段に示した図が令和6年度の配置案を示したもので、オレンジ色部分が委託包括の区域、白い部分が直営の区域となる予定です。

それぞれ、地区名の横に示した数字が高齢者人口を、高齢者人口の合計の下に示した数字が職員の人員配置を示しています。

令和6年度からは岩国2圏域の北河内・南河内・平田・藤河・御庄・師木野・岩国までの地区を一つの区域として、直営で運営したいと考えております。一つの区域として業務を運営することから、活動区域が広範囲になること、高齢者人口が 5,221 人から 9,666 人となり、支援を必要とする高齢者も増え、業務量の増加が見込まれることから、圏域2を担当する直営職員を増員し、今まで通り、市民への適切なサービス提供ができるよう、庁内関係課とも十分協議のうえ、包括職員の確保をしていく必要があると考えております。

### (3) 今後の包括委託への動きについて

包括委託の動きについて今後の方向性ですが、岩国市における前期高齢者の人口は減少傾向にあるものの、後期高齢者人口は今後も増え続け、認知症高齢者や要介護高齢者の増加、単身世帯の増加等が見込まれ、今後ますます地域に密着したきめ細かい総合的な支援が求められてきます。また、元気な高齢者を増やすための介護予防の取り組みや、高齢者虐待の防止や権利擁護の推進、認知症の人とその家族への支援体制の強化など、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための地域づくりを推進していために、地域包括支援センターのさらなる充実強化が必要となってきます。今後も民間の柔軟な発想と行動力を生かし、より市民のニーズに応えられる地域包括支援センターの体制整備を行うとともに、市としての役割を果たせる体制づくりをしていくために、民間委託の方向で取り組んでいきたいと考えております。これまでの法人からの聞き取りの中で包括運営における課題があげられていることから、そういった課題を事業者等と共有するとともに、少しでも今後の業務委託につながるよう改善策の検討などに取り組み、委託の可能性について状況を図りながら、今後の公募については検討していきたいと考えております。

また、令和6年4月には、介護保険制度の改正が予定されておりますので、今後の国の方針も注視しながら、より市民に寄り添ったきめ細かい活動を促進し、市民サービスを向上できるように、地域包括支援センターのあり方を検討していきたいと思っております。

つきましては、地域包括支援センターの業務委託の推進や円滑な業務運営について委員皆様のご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

## 質疑応答

(会長)ただいま事務局のほうから説明がございました。本日の内容はプロポーザルの結果ということですが、今後の取り組みなども含めて説明いただいたかと思っております。このことについて皆様から自由なご意見をいただいて、またそれをもとに今後のことを市のほうで検討していただければと思います。

## 公募型プロポーザルの結果に対するご意見

Q1 今回、委託が1か所減るのですよね。平成28年ごろは委託包括が5か所で、この数年間の間に2か所減りましたが、ほかの市町ではそういったことはあるのでしょうか。あまり委託をやめたという話は聞かないのですが。ほかの市町の状態が知りたいのと、ほかの市町の委託がうまくいっているのならば、どうし

て岩国市は続かないのか、うまくいっている市町から学べればいいかなと、思ったりしました。

A1 ほかの市町の状況ですが、県内の市町でも委託継続が困難となり、委託先より返ってきたという市町があると聞いています。委託がうまくいっている市町の状況として、職員の確保ができていた点と、委託料が、岩国市の場合は人件費・事務費込みで包括的支援業務が 540 万円/人、プランナーが 260 万円/人としていますが、他市町は事業によって委託料を上乗せしていると聞いています。

岩国市でも委託料を増額してほしいという意見も聞いておりますので、今後見直しの検討をしていきたいと考えております。

Q2 基本的なことだと思うのですが、直営を委託にすることで、何が良いのでしょうか？

A2 より地域に密着したサービス提供ができると考えています。

Q3 現場の法人も委託にすることでより地域に密着したサービスが提供できると考えているのでしょうか。こんなに手上げがないのはおかしいように感じます。現場と行政とが意見を一致させないといけないと思います。

A3 介護人材の確保が困難になっている現状や今後の目指す方向性について共有し、改善策を検討することで少しでも民間に委託出来たらと考えております。

#### 今後の地域包括支援センターの運営に対するご意見

Q4 介護保険がスタートして 20 年になりますが、介護業界としても不安みたいなものがたくさんある状況の中で、今後、岩国市と介護業界と一緒に前向いていけるのだろうかということは、ずっと思っているところがあります。その不安をなくすためには、介護業界の不満みたいなものを、一回吐き出す場があったらいいのではないかと、思います。現場のケアマネージャーは、岩国市に対して、不満がない人もいるだろうが、不満を抱えている人もいます。ケアマネージャーの業界以外にもそうかもしれません。時間がかかっても、一回意見を吐き出して、どうすればいいのか、話し合いの場を作ろうよ、と思ったりします。

A4 ご意見ありがとうございます。おっしゃる通りだと思います。昨年度に法人に聞き取りを行った際、介護保険のサービス事業者さんの運営上の課題があることがわかりましたので、そのような課題を事業者と市が共有することが必要だと感じました。事業者と課題や目指す方向性を共有し、取り組んでいきたいと考えております。

(会長)今の議論はとても重要な議論で、地域包括ケアの本質の一つが、統合することで、医療と介護の連携とか、そういうことなのですが、気持ちを統合するということが、一番難しいと思っています。ただ介護保険計画を作りました、ではなくて、法人、専門職の方々がいろいろと意見を言う中で、一つの目標に向かっていく、というところなんです。どの市も同じ課題を抱えていると思いますが、大事なところなんです。

Q5 これは言っても仕方がないことなのですが、平成 18 年に地域包括支援センターができたときに、在宅介護支援センターを全部やめてしまったのがそもそもの間違いだったと思います。あの時、在宅介護支援センターで確保していた人員が浮いてしまった。当初から直営で始めてしまったことがそもそもの失敗で、その結果なので、仕方がないことです。

(会長)時代の変化というのはありますし、その時その折々で最善を考えてこられてきたと思いますが、委員

がおっしゃることも必要なこととして心に留めておいていただければと思います。

(会長)私からも意見を言ってもよいですか。人材確保の問題や、委託料の問題については、そんなに低いわけではないとも聞いておりますが、長期的に安定的な経営ができないという感触が一方で、あるのかなど、思っています。プロポーザル方式で、法人から聞き取りを行うなど、市も努力工夫はされておられるとは思いますが、もう少し発想を変えたやり方、例えば、いろいろな職能団体の皆さんが、共同経営するようなものを立ち上げて、岩国市全域を複数経営の法人ですべてマネジメントし、地域包括のみならず、介護、福祉、医療、そういったことを総合的にやるような仕組み、そういった岩国市モデルみたいなものがあってもよいのかなど、思いました。

従来のやり方ではない新しいパラダイムでもって仕切り直してやっていくことが必要なのかなというふうに、感じております。私は岩国市民ではないので、外野からの意見ということになりますけれども、そういったことも検討していただいてもいいのではないかと思います。このままプロポーザルを続けても、委託料を増やしてもそれほど状況は変わらないような気はします。そういった全国に発信できる岩国市モデルみたいなものを作っていただけるなら、介護保険制度が始まってから、ずっと本協議会の会長の職に就かせていただいておりますけれども、私はいくらでも尽力したいと思います。

## 結果

今年度実施した公募型プロポーザルの結果報告及び令和6年度の体制について説明、意見交換を行いました。事業者と岩国市が今以上に課題や目標を共有し、今後の地域包括支援センターの在り方について引き続き検討してまいります。

## 6 議題3 その他

### 事務局説明

#### ○今後のスケジュールについて

今回のプロポーザルの結果については、8月7日に市のホームページで掲載するとともに、受託予定者の方へ結果通知をすることとしています。

来年2月中旬頃には、今年度第2回目の運営協議会を開催予定としておりますので、引き続き皆様のご出席をお願いいたします。また、圏域2の藤河、御庄、師木野、岩国区域は来年4月より直営での運営となりますことから、円滑な業務移行するために3月中に引き継ぎを行います。受託予定業者として特定した3法人とは、4月1日より、契約開始としております。

## 7 閉会挨拶